

かもめ便り

記事紹介

納涼祭開催！	1面
書籍の寄贈	2面
地域交流・陶芸教室	2面
研修医紹介	3面
地域連携室だより	3面
Dr'sエッセイ	4面

【発行・編集】社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院 理事長 鎌田啓三
徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 TEL. 088-688-0011(代)

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/>

シーガル病院

検索

地域交流

鳴門シーガル病院 納涼祭が開催されました！



7月24日(金)鳴門シーガル病院の納涼祭を開催いたしました。

たこ焼きやかき氷などの出店は、配布券が全てなくなるほど大繁盛でした。お子さんにはスーパーボールすくいや射的が好評で、夢中になってポイを握っていたようです。また、今年もみやび連に来院頂き阿波踊りを披露してもらいました。最後に、見ている皆さんも混じって2拍子の音色に合わせて体を動かし、いい汗を流していました。締めくくりは打ち上げ花火で、次々と花が開くたびに歓声が上がっていました。



地域の方もたくさん足を運んでくださり、入院中の方も交流したりしながら、皆さんにぎやかな雰囲気を楽しんでいる様子でした。笑顔あふれる納涼祭となり、とても喜ばしい限りです。



来年も今年と同じく、たくさんの方にご来院頂き、楽しいイベントに出来るように職員一同頑張ります。

イベント実行委員会

地域交流

瀬戸小学校児童の陶芸教室



6月24日(水)、大谷焼・大西陶器製造所の勝浦先生のご指導により、瀬戸小学校児童が花びん・コップなど色々な作品を作りました。

土の感触を楽しみながらも、先生の指導を熱心に見つめる眼差しは正に真剣そのものです。それぞれが思い描く作品に上手く近づけるように、時に楽しく時に集中して、ろくろと向き合っていました。

その後、児童と患者さんとの交流、また鎌田理事長から病院の説明、取り組み等についてお話しされました。

披露してくれた合唱を聞いた患者さんたちは大喜びで、とても暖かい交流の場となりました。また、皆さん理事長のお話には時折うなずいたり、投げかけられる質問にしっかり反応してく

れたりしていました。真剣に話を理解しようとする姿勢で参加して下さい、とても有意義な時間であったと思います。

地域支援委員会 委員長



研修医紹介

鳴門病院研修医2年目の松葉と申します。8月から1か月間、精神科研修にさせていただきました。職員の皆様には大変お世話になりました。

鳴門病院は精神科が無く、研修中に精神疾患の患者さんを持った経験はありませんでした。精神科患者さんは「何となく怖い。異質だ」といったイメージを持っていましたが、日々、患者さんと接する中で、「彼らは決して異常者ではなく、異常に苦しんでいる病者である」と認識が変わりました。プライマリケアでは受診者の4割が何らかの精神障害であると知られ

ており、これから医師として働いていく中で、精神疾患を抱えた患者さんと沢山出会うと思います。そんな時、今回の経験を活かして、適切に対応できたらなと思います。

また、鳴門シーガル病院は周りを緑と海に囲まれ、とても過ごしやすい環境でした。海岸から見る景色は僕の母の実家がある尾道市の景色にそっくりで、懐かしい感じがしました。

将来進む科はまだ決まっていませんが、ずっと徳島で働いていくつもりです。これからもよろしくお願ひいたします。



徳島県鳴門病院
研修医

松葉尚隆 先生

今回鳴門病院より、基幹型臨床研修プログラムで当院に来られていた松葉先生の研修期間が、先日終了しました。初めての精神科で1か月という短い間ではありましたが、患者さんの話に真摯に耳を傾け、目を合わせお話しされる姿がとても印象的でした。

次の研修先や、研修を終えた後もますますご活躍されることを祈っております。

職員一同

先日、遠くアメリカはペンシルバニア州にあるピッツバーグ大学図書館より、感謝状が届きました。

実は今年の初めに図書館の担当の方から連絡を頂き、当院発行の「阿波井島保養院五十年史」と「十年の歩み」を寄贈いたしました。突然の海外からの問合せに最初は驚きましたが、北米における日本文化研究において非常に貴重な資料となりうるということで、これはこちらにも是非読んでいただきたい、と依頼を受けることになりました。

ピッツバーグ大学図書館には北米社史研究会の事務

局が置かれているようで、今回寄贈した「十年の歩み」は早速デューク大学の研究者に資料として貸出されるそうです。また寄贈した二冊とも、今後は大学図書館にて北米の大学研究資料として登録されるようで、当院の資料が海外で日本文化研究の一助となれば幸いです。

思いがけない所から生まれた、不思議な縁でしたが、当院の持つ長い歴史が評価され大変光栄なお話でした。

事務部 内藤賢一



University of Pittsburgh

University Library System

Gift and Exchange Department, Room 121
7500 Thomas Boulevard
Pittsburgh, PA 15260

31 July 2015

Mr. Kenichi Naito
Naruto Seagull Hospital
57 Seto-cho, Donoura, Aza, Awai
Naruto, Tokushima,
JAPAN 771-0361

Dear Mr. Naito,

Thank you for your donation of the item listed below to the University of Pittsburgh Library System (ULS).

Awai-shima hoyin gojunenshi.

No goods or services were received for this contribution.

Thank you again for your donation; we are grateful to you for making this material available to the University of Pittsburgh community and beyond. It is a valuable primary resource and very useful to scholars.

Sending you our very best regards,


Anne Koenig
Gift and Exchange Specialist

cc: Julie Seavy



鳴門シーガル病院は無料低額診療事業を行っています

「無料低額診療事業」をご存知でしょうか？

無料低額診療事業とは、諸事情により経済的に困窮している人が対象となる、医療費等の窓口負担の一部、もしくは全部の支払いが免除される制度のことです。

当院は、この制度を実施している徳島県下でも数少ない病院です。

医療保険による診療や入院治療を受けた場合、その医療費や食事療養費の一部が自己負担となりますが、経済的に困窮している状態ですとそれらの支払いがかなりの負担となるケースがあります。

当院では「医療費による経済的な負担を軽くし安心して治療を受けてもらう」ために、経済的に困窮されている方に対して医療費等の窓口負担(自己負担分)の全部、もしくは一部を軽減する無料低額診療を行い、良質な精神科医療の提供を行って

おります。

経済的な面で一定の条件に該当し、必要な手続きを行った後に当院の審査で決定すれば、無料低額診療の対象となります。

少しでも気になることがあれば、当院の地域連携室の精神保健福祉士へ「無料低額診療事業について知りたい」とお気軽にお問い合わせください。

地域連携室
大野貴史





前は全くダメなため、殺虫剤は必ず持っていき、自分がやられる位振りまくりましたが、ゴキブリと巨大クモのため、夜間不眠で格闘しました。

タオ島をご存知の方は、かなりのビーチマニアであるかと思えます。タオ島はタイの島で、バンコクからサムイ島という島に飛行機で行き、さらにフェリーで2時間半かかる、とても遠い島です。小さな島で、欧米人のバックパッカーでいっぱい。日本人も少なく、中国人は皆無です。前回紹介したパラオのように発展しておらず、スーパーマーケットはありません。セブンイレブン、小さなレストランやマッサージ店であふれています。浜辺に沿って店というか、テントというか、が並んでおり、夕日を見ながら酒盛りをしています。島の人は本当にのんびりしていますね。

一応リゾート地なので、ホテルはたくさんありますが屋外にトイレやシャワールームがあるところが多く、室内には大きなトカゲやクモ、ゴキブリ、ミミズ、ムカデが出るため、自然観がいっぱいです。ちなみに私は

虫は全くダメなため、殺虫剤は必ず持っていき、自分がやられる位振りまくりましたが、ゴキブリと巨大クモのため、夜間不眠で格闘しました。

タオ島はまさにダイバーズ天国です。海に興味のない方には全く魅力のない島かも知れませんが、船で遠洋に出ると、何千匹という魚群に出会えます。魚群の下を潜っていると、その影が太陽を遮って辺り一面が暗く感じるほど、魚ばかりです。触れるほど近くにいますが、触ろうとすると触れないものですね。色とりどりの魚が群れる姿はまさに、天国のようです。運がよければジンベイザメにも出会えます。私は会えませんが(涙)

タオ島への往復の際に必ず立ち寄るサムイ島はかなり発展しており、ダイバー以外の方が多くいます。ここはアクセスも良く、ホテルもきれいなため、家族旅行先としてもいいのではないのでしょうか。象に乗ったり、シュノーケルやクルーズのツアーが人気です。象に乗ってみましたが、これが何とも怖いものです。象は建物の2階くらいの高さで、ぼろい椅子に、ど

こかからとってきた車のシートベルトがついているだけの代物に乗って、山を回ります。落ちそうになること頻回ですが、スリル満点で楽しいので、ぜひお試しください。

さてタイの食事ですが、一番有名なのがトムヤムクンですね。世界三大スープの一つです。辛くて酸っぱい味が特徴ですね。カレーは絶品で、サラサラのスープ状で、野菜や鶏肉、シーフードが入っております。これをタイのお米と食べます。そしてなんといってもマンゴーが、安い、うまい、あまーい。お酒を飲めない私は、毎日旦那がシンハービール(ご当地ビールですごく美味しいらしいです)を飲む横で、ひたすらマンゴーシェイクを飲んでおりました。果汁100%。でも「ベリーベリーコールド」と言わないと、ドリンク類はすべてぬるいので要注意です。

このたびもストレス発散され、気持ちも新たにになりました。時にはのんびりが必要ですね。

医師 松下真美

【編集後記】

すっかり秋の空気となり、肌寒くなってきました。羽織るものを用意したり、体調管理に気を付けてください。

次号(『かもめ便り』第11号)は、2015年11月に発行の予定です。

編集担当 内藤

社会福祉法人 小滴会URL



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時15分まで

定時運航(10分~30分間隔)しています。

TEL 088-688-0011(代)

